

## シンポジウムの概要 (プロジェクトリーダー 根路銘 国昭)

1990年代の初期、「21世紀はウイルスの時代になる」と予想する某学者がいた。正にこれが的中し、西ナイル、エボラ、新型の日本脳炎、そしてデングウイルスが日本にまで押し寄せてきた。その原因の背景には、地球温暖化、森林・サバンナ等の地球生態系の破壊、そして人類の自然からの離脱があるとされている。しかし、その対策は難儀な上にそう簡単ではない。細菌の分野には多彩な抗生物質があるが、ウイルス感染症対策は治療よりもワクチンによる予防がより効果的な対策となる。とは言っても、そのワクチン造りは「ウイルスの大量培養」というリスクがつきまとい、時間もかかり、おまけに多大な資金を必要とする。こうした危機の時代に、日本列島の最南端に位置する沖縄県は貿易中継基地を重要産業に据えたが、地理的には多彩で危険なウイルスが徘徊する東南アジアに位置している。万が一この沖縄に危険なウイルスが出現したら、貿易中継基地構想と観光産業は壊滅的な打撃を受けることは火を見るより明らかである。そこで、根路銘らの研究チームは 昨年12月に確立・発表した超遺伝子工学技術を用い、コンピューターを駆使して、短時間に・低コストで生産可能な、カイコでのワクチン生産法を立ち上げた。

このシステムと展開される過程を医療関係者のネットワークで構築し、沖縄に於ける感染症対策基地の設立構想を世界に先駆けて立ち上げるものである。この成果を、世界で共有する「沖縄発のウイルス感染症対策」として、広く利用されることを期待する。

## 会場へのアクセス

パシフィックホテル沖縄 2階「ワイケレ」  
〒900-0036  
沖縄県那覇市西3丁目6番1号



- ◆お車でお越しのお客様  
・350台収容可能な大型駐車場を完備しております(無料)。
- ◆ゆいレールご利用のお客様  
・那覇空港駅から乗車し旭橋駅で下車、旭橋駅改札口を出て陸橋を右手に進み、突き当たりを右手に降り道なりに進む。  
・一つ目の泉崎交差点を左折し、しばらく直進すると前方右にホテルが見えます(旭橋駅から徒歩15分)。
- ◆那覇空港からバスをご利用のお客様  
・空港から那覇バス25番に乗りし「県庁北口」バス停で下車。  
・市内線(1・2・5番)へ乗り換え「三重城」バス停で下車(ホテルまでは徒歩1分)。

## お問合せ・申し込み先

日時

平成28年2月17日(水)  
14:00~17:00

会場

パシフィックホテル沖縄  
「ワイケレ」(左記をご参照ください。)

参加費

無料「定員100名」  
(どなたでもご参加いただけます。)

氏名・所属・連絡先をご記入の上、「シンポジウム参加」と明記いただき、E-mailまたはFAXにて、お申込み下さい。

公益財団法人  
沖縄科学技術振興センター

E-mail

【 [kaiko-vaccine@ostc.okinawa.jp](mailto:kaiko-vaccine@ostc.okinawa.jp) 】  
[http:// www.ostc-okinawa.org/](http://www.ostc-okinawa.org/)

沖縄科学技術振興センター

検索

## 沖縄感染症研究拠点形成促進事業(創薬開発研究)シンポジウム

参加申込書

必要事項を記入の上、FAXまたは  
E-mailにて、お申し込みください。

FAX: 098-921-4700

E-mail: [kaiko-vaccine@ostc.okinawa.jp](mailto:kaiko-vaccine@ostc.okinawa.jp)

会社 機関名		
TEL	FAX	
氏名	所属・役職	E-mail

※参加申込者が4名以上の場合には、本紙をコピーしてご利用ください。

※ご記入された個人情報は、本シンポジウムに関するご連絡のみに使用し、それ以外には使用いたしません。

事前申込み〆切  
平成28年2月14日(日)